令和元年度社会福祉法人綾瀬市社会福祉協議会事業報告

Ⅰ　総括

社会福祉法人綾瀬市社会福祉協議会（以下「本会」という。）の基本理念である「ともに支えあうまちづくりを」の実現のため、社会福祉事業と収益事業を合わせて３８の諸事業を実施しました。

事務局職員人件費を除く事業費は、１億６，２８０万円余で、前年度に比べ売店事業のふるさと納税品売上増などにより、１，９６０万円余の増となりました。

また、令和元年度は「２点の重点課題」を掲げましたが、その活動内容は次のとおりです。

Ⅱ　重点事項報告

１　住民が主体的に活動するための環境整備

本会では、平成２８年度から綾瀬市より受託し、取り組んでいる「生活支援体制整備事業」における第二層協議体、綾瀬市「ささえあい井戸端会議」の体制作りに取り組み、令和元年度は新たに１地区が発足し、１４地区中１１地区において「ささえあい井戸端会議」が活動を進め、地域の助け合いの仕組み作り等の充実を図っています。また、吉岡地区において住民が主体的に取り組みをはじめたプロジェクト「買い物ツアー」が本格スタートし、１１月には「ささえあい井戸端会議」の発展・普及のため神奈川県社会福祉協議会との協力により「地域支え合いフォーラム・綾瀬」を開催し、第二層協議体の仕組みづくりを図りました。

２　みんなでつくる次代を担う地域福祉活動計画の推進

本年度は、今後５年間の活動指針となる「第四次綾瀬市地域福祉活動計画」の開始年度にあたり、関係団体等の理解を得るため計画説明会などを実施し、新たな計画の周知を図りました。また、ひとりの人を包括的に支援する体制づくりを実現するため、関係機関との連絡会の開催や将来を見据えた福祉人材を育成するため、福祉を知ってもらおうプロジェクトや青少年体験学習をはじめとする各事業への参加を強化するなどの取り組みを図りました。

Ⅲ　事業概要報告

Ⅰ　社会福祉事業

決算額（前年度決算額）

１　法人運営事業

(1)　法人運営管理　　3,725 千円（4,937 千円）　⇩

ア　三役会（４回開催）

三役（会長、副会長及び常務理事）が理事会及び評議員会に関すること、また今後の事業執行に必要な事項等について協議、検討を行い、本会理事機能の円滑化を図った。

イ　理事会（５回開催）

第１回（令和元年６月１２日）

・平成３０年度事業報告

・平成３０年度資金収支決算

・評議員候補者の推薦について

・評議員会の招集について

第２回（令和元年６月２７日）

・会長、副会長及び常務理事の選任について

・評議員選任・解任委員会委員の選任について

・委嘱状交付

第３回（令和元年８月１３日）

・令和元年度顕彰者（表彰、感謝）の決定について

第４回（令和元年１２月９日）

・資金収支補正予算

・年末たすけあい地域活動支援センター等助成費交付金支給基準の決定について

・諸規程の改正

・評議員会の招集について

第５回（令和２年３月１９日）※書面決議による開催

・副会長の選任について

・資金収支補正予算

・令和２年度事業計画

・令和２年度資金収支予算

・諸規程の改正

・評議員会の招集について

ウ　評議員会（４回開催）

第１回（令和元年６月２６日）

・平成３０年度事業報告

・平成３０年度資金収支決算

・理事の選任について

・監事の選任について

第２回（令和元年６月２７日）

・委嘱状交付

第３回（令和元年１２月１６日）

・資金収支補正予算

・理事の選任について

第４回（令和２年３月２６日）※書面決議による開催

・資金収支補正予算

・令和２年度事業計画

・令和２年度資金収支予算

エ　監事会（２回開催）

第１回（令和元年６月６日）

・平成３０年度事業報告

・平成３０年度資金収支決算

第２回（令和元年１１月２２日）

・令和元年度上半期事業報告

・令和元年度資金収支上半期執行状況

オ　評議員選任・解任委員会（１回開催）

第１回（令和元年６月１２日）

・評議員の選任について

カ　特別賛助会員の増強

特別賛助会員増強のため郵便方式のほか、会長、副会長及び職員が市内事業所を訪問し、加入者の増強を図った

・金額　１，１６０，０００円（１，２０５，０００円）

・件数　１５２件（１５５件）

キ　事務局通信の発行

社協事業の紹介、職員のプライベートな話題など、親しみを持ってもらえる記事を掲載した内部広報紙を発行し、役員、評議員、地区社協会長及びささえあい井戸端会議座長へ情報発信を図った。

・発行月　４月、７月、１０月、令和２年１月　各６０部発行

(2)　職員管理　86,060 千円（86,742 千円）⇩

地区社協、行政、福祉団体、福祉施設等の関係機関と連携、協働を図り３８の諸事業等を展開するなど、ともに支えあうまちづくりを推進するための活動を図った。

２　調査・研究事業

(1)　計画推進委員会　449 千円（309 千円）⇧

第四次綾瀬市地域福祉活動計画（平成３１年４月から今後５年間）の進行管理を行った。

第１回（令和元年８月２９日）

・委嘱状交付

・第四次綾瀬市地域福祉活動計画の進行管理について

・気軽に触れ合え魅力ある綾瀬市社協をつくる４つの目標の進行管理について

第２回（令和元年１２月２６日）

・第四次綾瀬市地域福祉活動計画の進行管理について

・気軽に触れ合え魅力ある綾瀬市社協をつくる４つの目標の進行管理について

(2)　苦情解決委員会　　0 千円（0 千円）　⇨

市民、利用者からの苦情の適切な解決のため苦情解決調整委員会を設置し、福祉サービスの質の向上及び運営の信頼性を図った。

(3)　福祉人材確保事業　　158 千円（46 千円）　⇧

ア　福祉の仕事知ってもらおうプロジェクト

福祉の仕事に興味、関心を持ってもらうため、市内福祉施設職員の協力のもと、学校向けにプレゼンテーションを行った。

綾瀬西高校（令和元年１１月２９日）

・参加者　１２８名（１００名）

生蘭高等専修学校（令和２年１月１７日）

・参加者　１１２名

イ　あやせ Tomorrow プロジェクト

市内の若い世代を地域に取り込むため、防犯活動と健康づくりを兼ねた「夜回りランニング＆ウォーキング」を実施した。

また、６月「ほたる鑑賞会」、８月「知って得する情報講座」、１０月「ハロウィンイベント」を開催し、プロジェクトの周知を図った。

・実施回数　８回（１１回）

・延べ参加者数　約２００名

（ハロウィンイベント）

（ほたる鑑賞会）

３　広報・啓発事業

(1)　広報紙等発行事業　　2,966 千円（3,015 千円）⇩

広報紙「社協あやせ」を発行し、市民への啓発の促進と福祉情報の周知を図った。

・配布方法　ポスティングによる配布

・配布先　　市内全世帯、事業所、市内公共施設、構成会員、特別賛助会員

・発行月　　４月、６月、１０月、令和２年１月
各３６，０００部発行

(2)　ホームページ公開事業　（http:// ayase-shakyo.or.jp/）

本会の情報をはじめ地区社協の広報など幅広く情報を発信した。

また、SNS を利用し、リアルタイムな情報発信を図った。

ホームページ

ツイッター

インスタグラム

フェイスブック

(3)　福祉ふれあいまつり　　528 千円（605 千円）

福祉施設及び団体、地区社協、ボランティアの協力のもと、地域福祉や障がい福祉に今まで接点のなかった、または関わりの少なかった市民に向けて、福祉への理解と参加者及び関連団体の交流を図った。

今年度は、オリンピック経済界協議会と連携し子供や保護者など、福祉活動についてより身近に感じてもらう場となった。

・開催日　令和元年１０月２７日
・会場　　綾瀬市オーエンス文化会館及びその周辺
・来場者数　約２，２００名（約２，０００名）
・寄託金件数　６件（１件）
・協力団体数　６２団体（６１団体）
・協力企業数　１社（１社）
　※内訳　　ブース　３２団体（３１団体）
　　展示　　２２団体（１３団体）
　　ステージ　８団体（　８団体）
　　運営協力　９団体（　９団体）

４　地域福祉推進事業

(1)　社会福祉大会（社会福祉表彰式）　　175 千円（259 千円）

永年にわたって地域福祉推進のため活動してきた方々や多額の芳志をされた方々を対象に表彰式典を開催し、労をねぎらった。

・開催日　　令和元年９月２８日
・会場　　綾瀬市オーエンス文化会館
・参加者数　１５０名（１７０名）
・被表彰　　表彰２２件（３４件）
　　感謝４件（３件）
　　寄付感謝５件（１０件）
・地区社協活動実践発表大会（発表地区：落合地区、寺尾綾北地区）

(2)　福祉レクリエーション大会　　210 千円（262 千円）　⇩

市内の福祉団体とその家族及び福祉施設の入所者が集い、スポーツを通じて参加者相互の交流を行い、心身の健康保持を図った。

・開催日　　令和元年１１月９日

・参加者数　１４１名（１４０名）

・学生ボランティア等　７１名（６８名）

(3)　地区社協推進事業　　5,590 千円（5,405 千円）　⇧

地区社協の活動費を助成するとともに、各地区へ職員を派遣し、支援を図った。

ア　設置地区助成金

・助成数　１４地区（１４地区）

・助成額　２０万円／１地区（２０万円／１地区）

イ　ふれあいいきいきサロン事業

お互いがつながりを持てる場を住民主体で作れるよう支援するため助成し、サロン事業の充実、促進を図った。

・助成数　１４地区（１４地区）

・助成額　２万円／１地区（２万円／１地区）

ウ　地区ボランティアセンター設置事業

・助成数　３地区（３地区）

・助成額　５万円／１地区（５万円／１地区）

エ　地区社協強化推進事業

活動拠点（寺尾南地区社協ボランティアセンターサロンなごみ、深谷大上ふれあいの家、落合ふれあいの家）の運営や交流事業の活動費を支援し、充実と促進を図った。

・助成数　１０地区（１２地区）

・助成額　１０万円／１地区

（１０万円／１地区）

※中村地区社協４５，０００円

オ　地区社会福祉協議会連絡協議会（地区社協連協）

定期総会（令和元年６月１４日）

・平成３０年度事業報告及び決算報告

・役員の改選

・令和元年度事業計画及び予算

定例会　３の倍数月　第２金曜日　１３時３０分から

第１回（令和元年６月１４日）

・地区社協活動功労者表彰の推薦について

・男性料理教室の開催について

・小地域福祉活動計画策定及び進行管理について

・第四次綾瀬市地域福祉活動計画説明会の実施について

・令和元年度地区社協連協研修会について

・令和元年度綾瀬市社協の事業及び予算概要について

第２回（令和元年９月１３日）

・綾瀬市社会福祉協議会会費活用事業の啓発活動について

・令和元年度地区社協連協研修会について

・令和元年度地区社協交流会について

・令和元年度地区社協活動功労者表彰について

・令和元年度サテライト災害ボランティアセンターの設置について

第３回（令和元年１２月１３日）

・令和元年度地区社協対象事業の予定について

第４回（令和２年３月）※書面決議による開催

・令和２年度出張健康サロンの実施について

・令和元年度共同募金運動「街頭募金」の結果について

・災害時あんしん袋年間配布スケジュールについて

・令和２年度各地区社協の定期総会日程について

研修会（令和元年１１月２８日から１１月２９日まで）

・視察先　山梨県南アルプス市社会福祉協議会

しゃきょんの家

・参加者　１２名

交流会（令和元年１０月５日）

・会場　　城山公園バーベキュー場

・参加者　３１名（２７名）

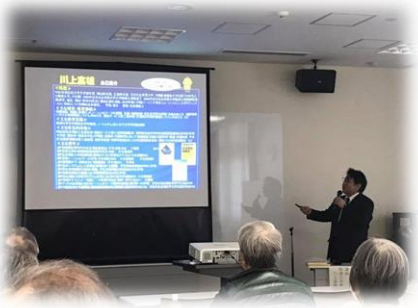
地区社協活動功労者表彰式（令和元年１２月１３日）

・被表彰者　１２名（１４名）

カ　地域福祉リーダー研修

・開催日　　令和２年２月１０日

・参加者数　２６名（２６名）



キ　地区社協合同研修会

・開催日　　令和元年６月１８日

・参加者数　２０名（１６名）

ク　地区社協活動実践発表大会

・開催日　　令和元年９月２８日

・会場　　綾瀬市オーエンス文化会館

・参加者数　１５０名（１７０名）

・発表地区　落合地区、寺尾綾北地区

ケ　地区社協サロン担当者意見交換会

・開催日　　令和２年３月１０日

・会場　　綾瀬市保健福祉プラザ

※新型コロナウィルス対策により中止

(4)　生活支援体制整備事業　　4,042 千円（1,752 千円）　⇧

各地区に職員を派遣し支援するとともに、さわやか福祉財団の協力を得て、日常生活圏域での、ささえあい井戸端会議発足を図った。

ア　ささえあい井戸端会議（第２層協議体）の新規発足

・ささえあい井戸端会議　寺尾天台　令和元年１１月２日

イ　ささえあい井戸端会議（第２層協議体）の開催　全１１地区

・寺尾南	毎月第３火曜日	１０回	・上土棚	毎月第２月曜日	７回
・吉岡	毎月第２木曜日	１１回	・中村	毎月第２月曜日	１１回
・落合	毎月第２日曜日	１０回	・小園	毎月第３水曜日	９回
・大上	毎月第３木曜日	９回	・早川	毎月第３金曜日	１１回
・蓼川	毎月第２金曜日	７回	・上深谷	毎月第３土曜日	１０回
・寺尾天台	毎月第２金曜日	３回			

ウ　ささえあい井戸端会議の資質向上

地域支え合いフォーラム・綾瀬（令和元年１１月１５日）

・参加者　５３名（３６名）

エ　ささえあい井戸端会議（第２層協議体）の全地域設置に向けた取り組み

生活支援体制整備事業説明会

・令和元年８月２０日　寺尾天台地区

オ　ささえあい井戸端会議の広報啓発活動

地域支えあいニュース１回発行（ホームページ掲載）

カ　第１層協議体運営会議　※新型コロナウィルス対策により中止

キ　その他

あやせ介護支援専門員協会の協力のもと、café 結（認知症カフェ）を実施した。

・会場　綾瀬市保健福祉プラザ

・開催回数　　１０回（６回）

・延べ参加者　１００名（１００名）

５　助成事業

(1)　地域福祉事業交付金　741 千円（781 千円）⇩

各自治会の協力により募集した、会費（住民会費）の一部を還元し、自治会で実施する地域福祉活動の支援を図った。

・交付数　１４自治会（１４自治会）

(2)　福祉当事者団体等事業助成金　1,848 千円（1,798 千円）⇧

ア　福祉当事者団体助成金

高齢者や障がい者等の事業費の助成を行い、活動の充実、促進を図った。

・交付数　７団体（７団体）

イ　小・中学校福祉推進事業

小、中学校へ福祉教育のための助成を行い、福祉教育の充実、促進を図った。

・交付数　１４校（１４校）

(3)　福祉ボランティアグループ事業助成金　940 千円（840 千円）⇧

ボランティアグループへの事業費助成を行い、活動の支援を図った。

・交付数　１０グループ（８グループ）

６　援護事業

(1)　法外緊急援護事業　1 千円（30 千円）⇩

緊急に交通費等を必要とする行路人等へ、資金給付を行うとともに、罹災世帯に対し、緊急的な資金の支援を行った。

・給付件数　２件（１件）

・緊急的支援件数　０件（１件）

(2)　交通遺児激励事業　0 千円（150 千円）⇩

交通事故等で遺児（２０歳未満）となった方に、見舞金及び激励金の支給を行った。

・支給件数　０件（２件）

7　総合相談事業

(1)　総合相談事業　　48 千円（48 千円）　⇨

ア　窓口相談（随時対応）

職員が窓口や電話で、様々な悩みごと、心配ごとの解消を図った。

・相談件数　３１４件（２３５件）

イ　地域なんでも相談（毎月１回　※各地区共通）

職員が地域に出張し（深谷大上ふれあいの家、落合ふれあいの家、寺尾南地区ボランティアセンターサロンなごみ、吉岡自治会館）悩みごと、心配ごとの解消を図った。

・相談件数　５件（４件）

ウ　福祉当事者相談（随時対応）

当事者や介護経験者が自身の経験と知識をもとに、悩みごと、心配ごとの解消を図った。

・相談件数　１３件（１５件）

(2)　生活応援事業　　52 千円（43 千円）　⇧

ア　生活応援事業

生活や食べるものに困窮する市民、世帯を対象に、総合的な相談と緊急性の高い世帯に対して、光熱水費の支払い（現物支給）を行った。また、セブン-イレブン. ジャパン㈱並びにフードバンクかながわの食品提供協力を得て食料提供を行い、生活再建の支援を図った。

また、事業の財源とするため、社会福祉法人から協賛金を募った。

・支援件数　　２件（４件）　・提供件数　１０６件（９４件）

・協賛数　　１件（６件）※新規１件

・協賛金額　２０，０００円（２８０，０００円）

イ　生活応援事業運営委員会

基金運用等について、適切な事業運営を図るため、委員会を開催した。

第１回（令和元年５月２１日）

第２回（令和元年１２月３日）

・生活応援事業支援実績及び基金、予算について

・支援時課題について

８　ボランティア振興事業

(1)　ボランティアセンター運営事業　　2,291 千円（2,375 千円）⇩

相談員を配置し、相談、派遣、さろんの実施、講座開催等の需給調整を行った。

・個人ボランティア　１６５名（１５７名）

・団体ボランティア　５３団体（５３団体）

・相談件数　１８３件（２３１件）

ア　ボランティア講座

活動に必要な知識と理解を深める講座を開催し、人材養成を図った。

ボランティア入門講座

・開催回数　１回（　２回）

・参加者　１２名（２６名）

登録ボランティア研修会（令和２年１月２３日）

・参加者　３８名（４１名）

イ　ボランティアさろん（毎月１回開催）

誰もが簡単に参加できる活動の提供や交流と情報交換の場として開催した。

・参加者　１７３名（１７７名）

※新型コロナウィルス対策により３月以降中止

ウ　綾瀬市ボランティア連絡協議会

ボランティア相互の連携を図るとともに、活動の充実及び普及を図った。

定期総会（令和元年５月１９日）

・平成３０年度事業報告及び決算報告

・令和元年度事業計画及び予算

役員会

第１回（平成３１年４月１２日）

・定期総会について

・夏の交流会について

第２回（令和元年７月５日）

・ボランティア養成講座について

・バス研修について

・夏の交流会について

第３回（令和元年１０月４日）

・夏の交流会の反省について

・新年会について

・次年度の役員改選について

・バス研修について

第４回（令和元年１２月６日）

・バス研修について

・新年会について

交流会（令和元年７月２０日、令和２年２月９日）

・開催回数　２回（２回）

・場所　綾瀬市オーエンス文化会館　小ホール

・延べ参加者　２９５名（３６８名）

研修会（令和２年１月１７日）

・視察先　（社福）県西福祉会　足柄療護園

・参加者　１８名（２０名）

エ　青少年体験学習

中、高校生等を対象にボランティア活動の場を提供し、福祉への理解促進を図った。

・参加者数　中学生　５６名（１６名）　高校生等　５０名（９８名）

・参加校数　中学校　　５校（　４校）　高校等　　４校（　４校）

オ　行事用機材貸出事業

福祉団体、市民活動団体等へ行事用機材の貸出しを行い、活動支援を図った。

・ポップコーン機　１件（７件）　・ポン菓子機　１件（１件）

・かき氷機　７件（６件）　・綿菓子機　７件（８件）

カ　福祉教室

小、中、高校等の依頼をもとに授業で福祉教室を開催した。

また、今年度は相鉄企業より依頼で、職員向けの高齢者疑似体験を行った。

・手話体験　１７件（２４件）　・高齢者疑似体験　１４件（２０件）

・車いす体験　９件（　９件）　・高齢者理解講話　１件（　１件）

・点字体験　７件（１９件）　・視覚障がい者講話　０件（　２件）

・誘導体験　１件（　２件）　・肢体不自由児者講話　３件（　３件）

・サウンドテーブルテニス体験　９件（１０件）

(2)　災害ボランティアセンター活動事業　726 千円（878 千円）⇩

ア　綾瀬市災害ボランティアセンター設置運営訓練

あやせ災害ボランティアネットワークと連携し、災害ボランティアセンターの設置及び寺尾南地区社協の協力を得て、サテライト災害ボランティアセンターの設置訓練。

※新型コロナウィルス対策により中止

イ　綾瀬発・釜石応援プロジェクト final

東日本大震災被災地である岩手県釜石市への支援を行い、支援回数は通算２０回、延べ参加者数は５９９名（スタッフを含む）となった。

令和元年度は、第７回釜石＆綾瀬夏の交流祭り・釜石の復興状況の見学を行い、復興支援と交流を図った。

・実施日　令和元年７月２６日から２８日まで

・参加者　２７名（２２名）

ウ　千葉台風災害被災地支援事業

台風被害に伴い、千葉県香取郡多古町へ備品の寄付とビニールハウス解体等の作業を行った。

・実施日　令和元年９月１７日、９月２５日

・参加者　６名

９　共同募金配分金事業

(1)　共同募金配分金事業　116 千円（101 千円）⇧

年末たすけあい募金の一部を年末たすけあい地域活動支援センター等助成費交付金として、レオモナ（就労継続支援Ｂ型）ファミール（地域活動支援センター）へ配分した。街頭募金活動では、上記２施設の協力のもと、募金活動の啓発を図った。

・交付数　２ヶ所（２ヶ所）

・交付額　５万円／１ヶ所（５万円／１ヶ所）

(2)　災害時あんしん袋配布事業　283 千円（644 千円）⇩

６５歳以上の高齢者のみの世帯で「地域避難行動要支援登録制度」に登録をしている方を中心に災害時あんしん袋（水、キャラメル、笛、懐中電灯）を配布し、要支援者との顔つなぎを図った。

・協賛　サントリービバレッジソリューション株式会社（水の無償提供）

・協力　地区社協

・配布数　１，３４０個（１，３７１個）

(3)　その他　6,752 千円（5,403 千円）⇧

広報紙発行事業、ボランティア活動助成、福祉団体助成等に配分金を充当した。

１０　あんしんセンター事業

(1)　日常生活自立支援事業　6,340 千円（6,451 千円）⇩

高齢者や障がい者等が地域において自立した生活が送れるよう、福祉サービスの利用援助や金銭管理、公共料金等の支払を代行し、日常生活の支援を図った。

ア　契約締結者数

・利用援助、管理サービス　４３名（４２名）

・書類等預かりサービス　　１１名（１２名）

・上記両方契約　　１０名（１１名）

イ　相談件数

・問合せ、新規　２３件（７件）

・契約者相談　１，７６８件（１，９００件）

ウ　局内カンファレンス

新規相談者の契約締結能力や支援の必要性などを総合的に判断し、支援方針を決定した。また、契約者の判断能力の有無、支援の適否や契約更新の可否について検討を行った。

・開催回数　５回（６回）

(2)　法人後見事業　2,660 千円（4,627 千円）⇩

家庭裁判所の審判により、認知症高齢者や知的障がい者の後見人等として身上監護及び財産管理を行い、日常生活の支援を図った。

ア　受任件数

・後見　　８件（１１件）

・保佐　　２件（　３件）

・補助　　１件（　１件）

イ　法人後見審査会の開催

・開催回数　３回（２回）

・後見候補者の審査、後見ケース検討

(3)　市民後見事業　　1,146 千円（1,172 千円）⇩

ア　市民後見サポーター

市民後見人養成講座修了者が市民後見サポーターとして活動。３名が後見活動（法人後見受任ケース）を行った。

１１　資金貸付事業

(1)　生活福祉資金貸付事業　　2,214 千円（2,133 千円）⇧

生活福祉資金（福祉資金、教育支援資金、総合支援資金）等の貸付の相談や借受者（世帯）への償還指導を実施し、低所得者世帯への生活の安定を図った。

ア　福祉資金・教育支援資金

・相談件数　５１件（６９件）

・貸付件数　　１件（　５件）

イ　緊急小口資金

・相談件数　３９件（２７件）

・貸付件数　　０件（　１件）

ウ　総合支援資金

・相談件数　　３件（　５件）

エ　不動産担保型生活資金

・相談件数　　８件（　９件）

(2)　簡易小口生活資金貸付事業　　136 千円（468 千円）⇩

不測の事態により生活が困難になった世帯に資金を貸付し、生活の安定を図った。

・貸付件数　　７件（１０件）

・償還件数　　７件（１０件）

１２　基金運営事業

(1)　福祉基金運営事業　550 千円（976 千円）

・寄託金額　３５０，６１５円
　　（９７１，１９８円）
・寄託金件数　３１件（３９件）
・寄託品件数　１０件（１６件）

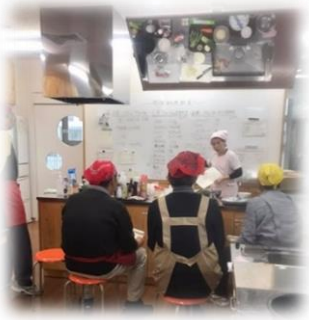
(2)　各種基金運営事業　922 千円（7,500 千円）

各種基金を管理し、活動財源の確保、財政の長期にわたる健全な運営を図った。

１３　サービスセンター事業

(1)　サービスセンター事業　1,698 千円（1,739 千円）

コミュニティケアワーカーを配置し、相談、助言等を行った。また、男性を対象に簡単でバランスのとれた調理方法を学習するための講座を開催した。



・地区別男性料理教室
　１３名／全２回（２８名／全２回）
・男性料理教室　※新型コロナウィルス対策により中止

(2)　住民参加型生活支援事業　622 千円（896 千円）

高齢者、障がい者等に家事援助、身体介護など住民参加型のホームヘルパーを派遣し、支援を図った。

ア　登録者数

・援助会員　１７名（２３名）
・利用会員　１８名（２２名）

イ　援助回数

・５１３回（６１６回）

(3)　住民参加型移動支援事業　　121 千円（128 千円）　⇩

市民の参加と協力により、移動制約者（高齢者、身体障がい者等）のために自家用車などを利用し、病院等への送迎の支援を図った。

ア　登録者数

・援助会員　１２名（１１名）

・利用会員　４８名（４５名）

イ　運行回数

・５８３回（６１２回）

(4)　移送サービス受託事業　　3,147 千円（7,203 千円）　⇩

車いす等を利用しなければ歩行が著しく困難な方々へ、リフト車を２台運行し、通院等の支援を図った。

・延べ利用者数　２７６名（３２０名）

(5)　車いす貸出事業

病気やケガ等で、歩行することが一時的に困難になった方などを対象に３ヶ月を限度に車いすを貸出し、生活の支援を図った。

・件数　１０１件（１１１件）

(6)【新】生活援助従事者研修　　58 千円（0 千円）　⇧

・参加者　０名

１４　居宅介護支援事業

居宅介護支援事業　16,746 千円（16,089 千円）⇧

介護保険の要介護認定者等に対し、本人の選択に基づいた「居宅サービス計画」（ケアプラン）を作成し、利用者や家族へ支援を図った。

・延べ利用者数　１，２５１名（１，３６４名）

１５　訪問介護事業

(1)　訪問介護事業　31,414 千円（32,697 千円）⇩

介護保険の要介護認定者で、ホームヘルパーを必要とする方に対し、身体介護、生活援助、相談、助言など高齢者の支援を図った。

・延べ利用者数　７３０名（７４６名）

(2)　介護予防・日常生活支援総合事業

介護保険の要支援認定者で、ホームヘルパーを必要とする方に対し、予防身体介護、生活援助、相談、助言など高齢者の支援を図った。

・延べ利用者数　４９７名（４２０名）

１６　障害者介護支援事業

(1)　障害者介護支援事業　6,187 千円（6,666 千円）⇩

身体障がい者、知的障がい者、精神障がい者、障がい児童でホームヘルパーを必要とする方に対し、身体介護、家事援助、通院介助、相談、助言など自立の支援を図った。

・延べ利用者数　２２４名（３５５名）

(2)　計画相談事業

障がいのある人が自立した日常生活や社会生活を営むことができるよう相談支援を図った。

・利用者数　３４名（２７名）

Ⅱ　収益事業

決算額（前年度決算額）

１　売店事業

売店事業　　62,828 千円（29,228 千円）

市役所内売店等を受託経営し、市役所職員の福利厚生や来庁者への利便を図るとともに、収益金を福祉事業に活用するため自主財源の確保を図った。

◇会費収入状況

会員（会費）募集

本会が行う民間福祉活動への理解及び事業、活動のための自主財源確保を目的として実施し、多くの市民等の賛助をいただいた。

会費種別	金額
住民会費	７，３４３，１３８円（７，４１９，２２０円）
構成会費	１１３，０００円（　１１８，０００円）
特別賛助会費（事業所）	１，１６０，０００円（１，２０５，０００円）
特別賛助会費（個人）	０円（　１０，０００円）
計	８，６１６，１３８円（８，７５２，２２０円）

◇事務局職員体制

（令和２年３月３１日現在）

事業区分名	配置人員
職員管理	常勤　（１０名）
ボランティアセンター運営事業	非常勤　（２名）
日常生活自立支援事業	嘱託　（１名）　非常勤（４名）
法人後見事業	非常勤（兼務４名）
市民後見事業	非常勤（兼務４名）
生活福祉資金貸付事業	非常勤　（２名）
サービスセンター事業	非常勤　（２名）
移送サービス受託事業	非常勤　（２名）
居宅介護支援事業	嘱託　（３名）
訪問介護事業	嘱託　（３名）　非常勤（２０名）
障害者自立支援事業	嘱託　（兼務３名）　非常勤（兼務２０名）
売店事業	非常勤　（４名）
計	常勤（１０名）　嘱託（７名）　非常勤（３２名） 計４９名